NIE実践報告

1．タイトル：☆京都のことを知ろう！

2．学校名

北海道音更町立音更小学校

3．実践者名（代表者名）

山田圭介

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　28人

6．単元（本時の学習課題）名

「京都の新聞を作ろう」

7．目標（狙い）

自分の住む十勝の自然やくらいと他の地域との比較を通して、日本の国土の様子について知るとともに、他地域との自然やくらしの違いについて気づくことができる。

8．評価の視点

他の地域について視点を絞って調べ学習を進め、他の地域と十勝との違いについて、違いに気づきながら比較できているか。また、比較の結果を新聞に表現できているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

さまざまな自然とくらし（教科書教材：東京書籍）　19時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教科書により日本のさまざまな地域の特色について学習する。（9時間）
②「京都新聞」と「十勝毎日新聞」の1面を見比べ、違いに気づく。（1時間）
③京都についての調べ学習→視点を絞って（歴史・風土・文化・くらしなど）。（4時間）
　※本やインターネットで調べたり、京都の小学校に質問したりして調べ学習を進める。
④調べたことを新聞にする。（3時間）
⑤新聞発表会。（1時間）
⑥まとめの時間。（1時間）

（留意点）
・4人一組での新聞作りなので、記事の内容に偏りが出ないよう、取材する内容を話し合わせた。また、レイアウトについても工夫させた。
・京都の小学校との交流については、ファックス用紙の書き方んど、基本的な事項について事前に学習した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・様々な場面で十勝との違いを感じ取ることができ、発表会では様々な違いに驚きの様子が見られた。
・京都の小学校との交流をとても楽しんでいた様子である。

12．成果と課題

・自分の住む日本について関心を高めることができ、この学習後の新聞スクラップからは、他の地域の情報について調べるものが多く見られるようになった。
・他の地域の新聞と自分の地域の新聞の比較を通して、新聞の作られ方に違いがあることに気づき、新聞作りにも役立てることができた。
・時数が多くなってしまったことが課題として挙げられる。